

□ 要請番号 (JL31225A11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チリ	A204 防災・災害対策		個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力開発庁

2) 配属機関名 (日本語)

サン・カルロス消防署

3) 任地 (ニュブレ州サン・カルロス市) JICA事務所の所在地 (サンティアゴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

サン・カルロス市はチリ中部のニュブレ州にあり、州都チジャン市から北27kmに位置する。主な産業は農業・製造業で4つのセクターからなる人口約53,000人の町であり、人口の約60%は都市部にある。サン・カルロス消防署は1924年6月1日に設立され、創立100周年を迎えた。男女のボランティアで構成される公共団体であり、自然災害(洪水、水害、地滑り、地震等)、車両事故、危険物の撤去など様々な災害対応を行っている。年間予算は3100万円。消防車3台、林野火災用消防車2台、ポンプ車1台等の計15台所有。配属先は隊員の受入実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

任地は火山噴火、地震、河川の氾濫や洪水、森林火災などの災害が発生している。近年は気候変動の影響により、特に冬季は洪水・河川の氾濫、夏季は森林火災が発生することから、サン・カルロス消防署はその対応に追われている。防災を強化すべく、日本の防災・災害対策分野における知見・技術の共有を求められ、本要請がなされた。また、チリにおける消防士は100%がボランティアであり、実地訓練は週1回のみとなっていることから、訓練内容や指導方法の改善が期待されている。現在、ニュブレ州で初の消防士訓練センターを建設する計画があり、可能であれば、建設にかかる助言を行う。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚らとともに、以下の活動を行う。

- 任地の災害リスクを分析し、防災に関する事業計画の提案と実施に協力する
- 消防士の訓練や実習を視察し、訓練内容や指導方法の改善を目的とした助言を行う
- 日本の防災・災害対策の技術を紹介する
- 週1回、夜間シフトに同行し、現地消防士の業務を理解する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、電話、PC、プリンタ、インターネット

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 運営責任者(CP、男性、50代)、経理、総務、清掃、通信オペレーター等 計13名(男性6名、女性7名 19～50代)

活動対象者: ボランティア消防士150名 ※勤務は交代制

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	英語(レベル:D)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）	[学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚に指導するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（0～30℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】